

2022年5月14日

G7農業大臣会合
危機時における持続可能な食料システムに向けた道筋
(仮訳)

14 我々は、食料システムや土地利用の変化が、気候変動の要因であることを認識する。同時に、農業、林業、漁業、水産養殖業が、気候変動による影響に対し特に脆弱であることを認識する。我々は、「パリ協定」の完全かつ迅速な実施についてのコミットメントを再確認する。我々は「グラスゴー気候合意」を迅速に実行するにあたり、十分な役割を果たす意向である。我々は、すべての人々へ充分かつ安全、健康的で栄養のある食生活を提供すべく、気候変動に対する適応を強化するための既存の取組を強化する意向である。我々は、ネットゼロ達成を目指す温室効果ガス削減のための取組を可能な限り迅速に、そして遅くとも2050年までに強化することにコミットする。我々は、(気温上昇を)1.5°C以内に抑えることが可能であるよう、農業や土地利用分野における分野毎の取組を引き続き強化する。このため、我々は、メタン排出の削減、持続可能な森林運営、そしてエネルギー消費の削減等の持続可能で気候に優しい農業手法を促進することで気候緩和措置の促進にコミットする。この観点から、我々は、UNFCCC COP26の成果を想起し、特に「森林と土地利用に関するグラスゴー・リーダーズ宣言」への我々の共通のコミットメントを強調する。我々は、「農業に関するコロンビア共同作業」や気候変動の適応・緩和のための将来的な解決策に関するそれぞれのイニシアティブにおける、またはその枠を超えた議論が更に行われることに期待する。

25 森林は自然環境における多機能的な役割を通じて、農業サプライチェーンにおいて必要不可欠な役割を果たしている。そのため我々は世界的な森林減少、とりわけ農業の拡大によって引き起こされる場合を懸念している。我々は、「国連森林戦略計画」と6つの世界森林目標に対する我々のコミットメントを想起する。恒常的な森林の喪失は、気候、生物多様性、土壌ひいては、食料安全保障や栄養を脅かす主たるものである。そのため、我々は持続可能な方法で管理された森林において生産され、合法的に収穫された木材製品の消費促進にコミットする。我々は、農業生産を森林減少と森林劣化から切り離す、持続可能な食料サプライチェーンへの支持を増加させることにコミットする。我々は森林減少を食い止めるという目標を支持するため、優良事例を共有し、ガバナンスと透明性の強化を含めたアプローチを探求しながら協働することにコミットする。我々は規則を回避するためにサプライチェーンを移行するというリスクを防ぐため、農産品の持続可能なサプライチェーンを通じてこの目標の達成を目指す。我々は、WTO のルールに沿ってサプライチェーン全体における共通の解決策に向けて取り組むために、他の消費国、生産国、民間分野及び全ての利害関係者との対話が重要であること、そして我々にはその用意があることを強調する。そのため、我々は、持続可能なサプライチェーンへの移行を支持するために生産者と消費者と協働し、森林・農業・コモディティ貿易（FACT）対話及びその他関連するイニシアティブに積極的に貢献し、成果に導く。我々は、OECD と FAO による進行中の「森林減少、森林劣化及び農業サプライチェーンのデュー・デリジェンスに関するビジネスの手引き」に関する取組に感謝する。